

表題：第2回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会 概要

- 1 日 時 平成27年7月7日（火曜日） 18時30分から20時20分
- 2 場 所 町民会館 第1会議室
- 3 出席者 （委員） ※敬称略
石川かず子、加戸佐織、香取幸子、島崎亜紀子、島崎隆太郎、中居樹里、
中沢清、野本多恵子
（協働施策推進アドバイザー）
辻山幸宣（財地方自治総合研究所所長）
（事務局）
横澤和也（住民部長）、古川実（住民部地域課長）、
水村探太郎（住民部地域課地域係長）、吉岡佐知代（住民部地域課地域係主任）
堂垣祐介（住民部地域課地域係主事）
- 4 欠席者 清水久央
- 5 議 題 1 協働事業提案書について
2 協働フォーラムについて
3 その他
- 6 配付資料 1 次第
2 協働事業提案書
3 フォーラム資料
4 瑞穂町町民意識調査
5 第1回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会会議録
6 協働ロゴマークの事例
- 7 開会
加戸委員長
- 8 議題1 協働事業提案書について
水村係長から
資料の確認及び説明

協働事業提案書に関する議論 協働事業提案書はNPOやボランティア団体等が協働事業の提案をする際、地域課窓口に提出していただくシート。
今後の委員会で修正を行っていく予定。

- ・シートの記入例があってわかりやすい。協働といっても具体的に何をするのかわかりづらいが、シートをもとに進めていくと役割分担が明確になって良い。
- ・シートをもう少し簡易的にし、記入案内でパンフレットなどを別途作成したほうが提案してみようという人が増えるのではないか。

- ・町として協力できる事を具体的に列記してほしい。
- ・団体の活動実績を記入する欄を設けたほうが良い。その活動実績と今回の協働事業の整合性が図れるため。

議題2 協働フォーラムについて

水村係長から

資料の確認及び説明

協働フォーラムに関する議論 平成28年3月に予定している協働フォーラム全体についての意見と、具体的なフォーラム案についての意見をまとめました。

～概要～

- ・平成28年3月に協働フォーラムを予定していて、委員が主体となり協働事業提案シートを記入しながら進めていく。
- ・協働フォーラムの目的と対象となる人たちを限定しないと人が集まらなくなってしまうのではないか。
- ・フォーラムのテーマや形式等は委員が話し合って決定する。事務局からの提案は極力控え、協働フォーラムの枠は変えずに、事務局は委員に協力する。
- ・フォーラムの想定される参加者は委員の団体の会員、学生、NPOなどが考えられる。
- ・今回のフォーラムが1回目の具体的な協働事業となるため、事務局は庁舎内の調整を行い、委員は意見を出し合い実際にフォーラムの内容等を決めていく。
- ・事務局としてはフォーラムの時間を午前中準備で、午後2～3時間と考えていましたが、これも委員同士で話し合って自由に決定してもらって構わない。
- ・町民会館ホールの収容人数は200人程度。多いと立ち見になってしまう。
- ・3月のフォーラムでは、協働とはどういうものかを周知し、意識を変えていく、さらに町と何かやってみようと思ってもらうことが目標になる。まずは協働に興味を持ってもらい、少しでも理解してもらいたい。
- ・委員からフォーラムは今年度だけでなく、継続してやっていきたいという意見を受けて、町としても周知啓発活動は続けていくものだと考えているので、継続を視野にいれている。
- ・地域で活動している実態をこれまで知らなかった人たちと共有することがコンセプトであり、その中で町と協働できることを発見してもらえたら良い。

～具体的なテーマや形式等の意見～

- ・以前に福生警察が詐欺事件の寸劇をやっていたので、話を聞くだけではなく、そういった寸劇なども面白いのではないかと。
- ・町全体を巻き込むのであれば公園めぐりやスタンプラリーといった動きがある形式はどう

か。

- ・講演だけでは人は集まりにくいと思うので、町内を移動しながら実際に活動している場所を具体的に見てもらって、それから講演を聞くとわかりやすい。

回廊計画やさくらマップを活用したら良い。

また、会場の外にブースを設置すると、気軽に入っていきやすい。ブースでは団体の具体的な地域活動の説明やパネルなどで見てわかるようにする。

- ・3月に1回だけフォーラムを行うのか、それとも、3月の前に一度小さいものを開いてから、3月に臨むのか、2パターン候補がある。後者は、委員の団体会員向けに小さいリハーサルのようなものやって、そこでつながりを持ち、より多くの人に協力してもらいながら、3月のフォーラムを迎える。
- ・パネルディスカッションをやるのであれば、仕切る人次第で全く違ったものに仕上がる。慣れている人でないと難しいのではないか。

議題3 その他

事務局から

- ・次回の委員会の日程確認
- ・周知啓発のロゴマークについて説明